

実施年度	実施主体	対象獣種
R 8 ～ R 9	下関市鳥獣被害防止対策協議会	シカ

現状・課題

本市の実施隊等の努力により、毎年、多くの有害捕獲を実施しているものの、捕獲者の減少や高齢化により、更なる捕獲圧の強化には限界がある。特に、近年個体数が増加しているニホンジカに対しては、十分な捕獲圧を掛けられていない状況にあることから、限られた捕獲リソースを、農作物に被害を与えている加害個体に集中投資していくことが求められる。

事業概要

ニホンジカによる農林業被害の低減を目的として、情報の見える化により、効果的な集中捕獲の仕組みを構築するため、

- ・ほ場ごとの被害情報等の聞き取り調査、
- ・センサーカメラ、ドローン等による加害個体の生息状況調査、
- ・調査で得られた情報をGISで可視化し、限られた資源を加害個体に集中させた効果的な捕獲の実施（エリアごとに捕獲柵・くくりわなを併用）、
- ・捕獲前後の生息・被害状況の変化をモニタリングし、対策効果を検証、
- ・事業で得たデータやノウハウを蓄積することで、継続的に鳥獣対策に取り組める体制の構築

等を実施。

活用機器 ※交付金活用外の機器を含む

- ・通信機能付きセンサーカメラ
- ・通信機能無しセンサーカメラ
- ・ドローン

モデル地区の普及範囲

県内市町

【イメージ】



事業概要

情報の見える化による効果的な集中捕獲を実施するため、以下の取組みを行うもの



科学的データに基づく効果的な集中捕獲により、ニホンジカによる被害の低減を目指す

